



証券コード:2269

ESGミーティング資料

## サステナビリティの取り組み

2019年12月17日

明治ホールディングス株式会社

**1. 明治グループ2026ビジョン**

**2. サステナビリティ2026ビジョン**

**3. 今年度の取り組み内容**

**4. トピックス**

## 1. 高齢化による社会構造の変化

- ・ 日本では、2025年には人口の30%が65歳以上に

## 2. 健康意識・予防意識の高まり

- ・ 生活環境や食生活の変化による「病」の増加

## 3. 世界の中間層の拡大

- ・ 中国・インドを中心とした新興国の所得水準の向上

## 4. 世界で増え続ける食糧問題

- ・ 飢餓人口の増加、食糧不足による低栄養問題、食品ロス

## 5. 薬剤耐性菌の広がり

- ・ 抗菌薬が効かない薬剤耐性(AMR)をもつ細菌が世界中で増加

方針1. コア事業での圧倒的優位性の獲得

方針2. 海外市場での成長基盤の確立

方針3. 健康価値領域での新たな挑戦

事業ビジョン

推進にあたって

- ・外部リソースの活用
- ・革新的な生産性向上

サステナビリティビジョン

方針4. 社会課題への貢献

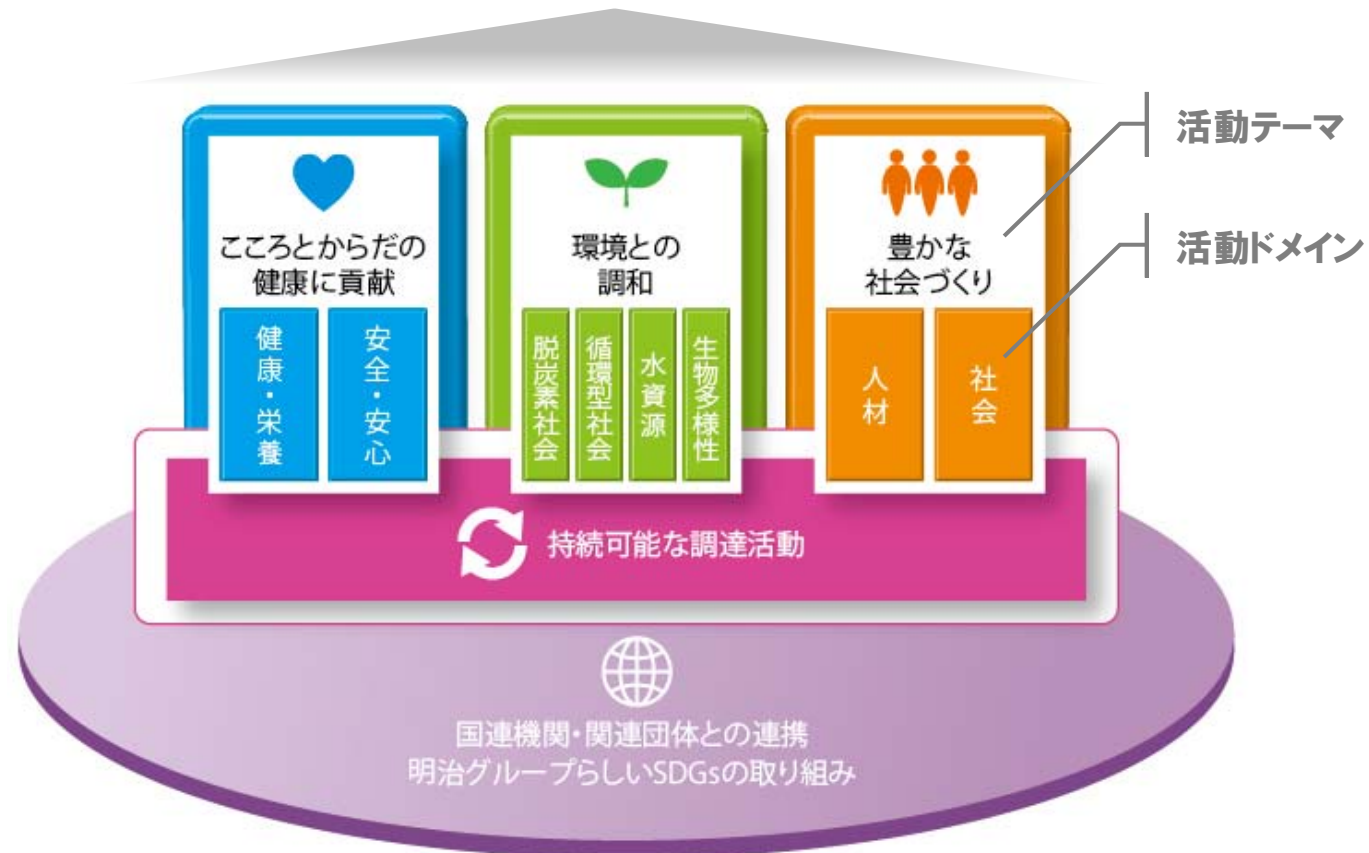
活動テーマを設定し、取り組みを推進

- ころろとからだの健康に貢献
- 環境との調和
- 豊かな社会づくり

経営基盤ビジョン

- 日本・世界で成長し続けるための機能的・戦略的なマネジメント体制の整備
- 一人一人の力が発揮できる環境・仕組み・風土づくり
- meijiブランドの進化

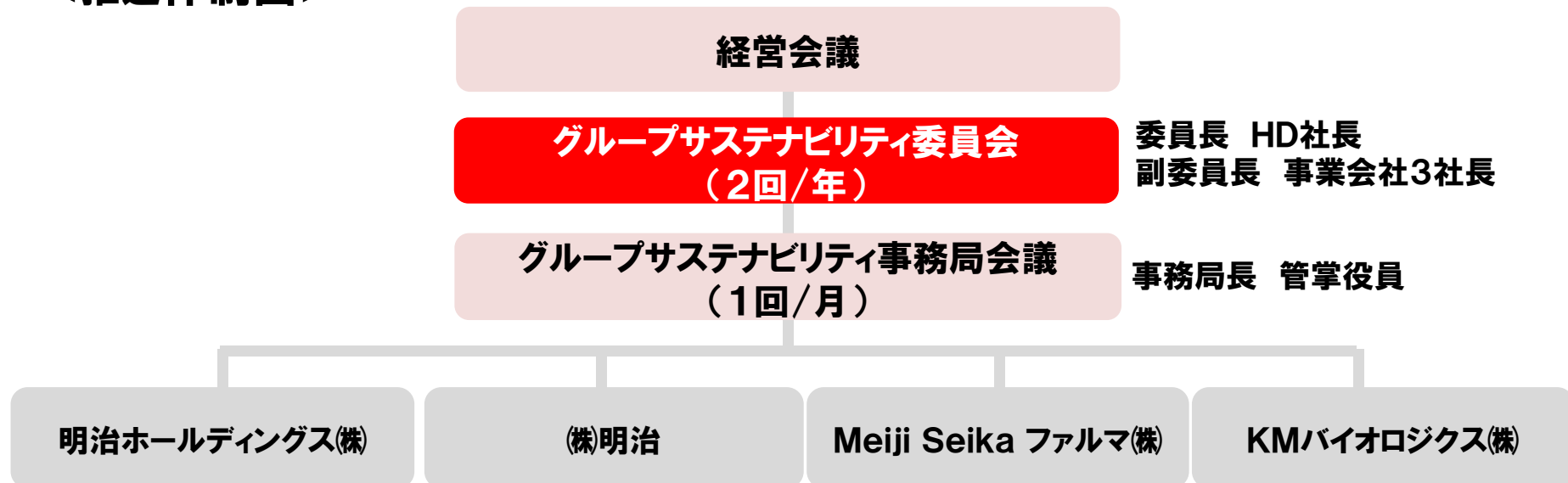
明治グループは、食と健康のプロフェッショナルとして  
事業を通じた社会課題の解決に貢献し、  
人々が健康で安心して暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指します



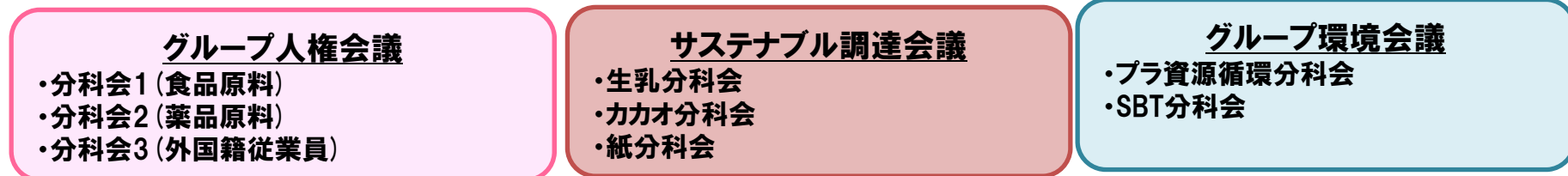
## ● 2019年10月 サステナビリティ推進部設置

「持続可能な社会の実現」に向け、グループ全体のサステナビリティ戦略を立案・推進

### <推進体制図>



### <会議体>



# 脱炭素社会に向けた取り組み

## ● 今年度の取り組み

- 太陽光発電設備導入の長期プランを策定、今後10年間毎年1~2工場に設備を導入
- (株)明治九州工場に設備を導入、2020年3月より発電を開始
- エコカーへの切り替えを推進

九州工場の太陽光発電設備完成予想図



(株)明治は、2028年度までに年間CO<sub>2</sub>排出削減量6,000トン、発電規模8.4メガワットを目指す(削減量は2019年度比)

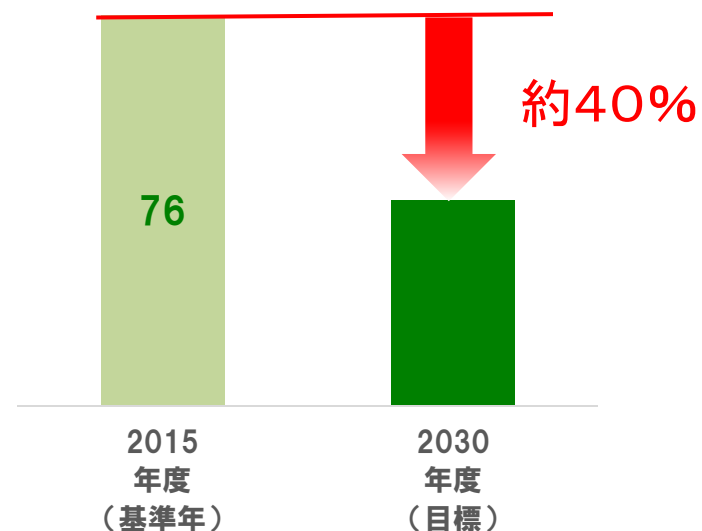
## ● 削減目標を再設定

グローバルで  
2030年度までに  
SBT<sup>注1</sup>を視野に入れた目標数値

※2015年度対比

注1: SBT 科学的に根拠ある水準の目標 (SBT: Science Based Targets)

CO<sub>2</sub>排出量(万t-CO<sub>2</sub>)



## ● 今年度の取り組み

- 水使用量削減プランの検討
- 水リスク対策の検討
  - ・ 水リスク分析ツール「アキダクト」を活用しリスクを分析
  - ・ 水リスク実態調査による生産拠点の評価

## ● 次年度の取り組み

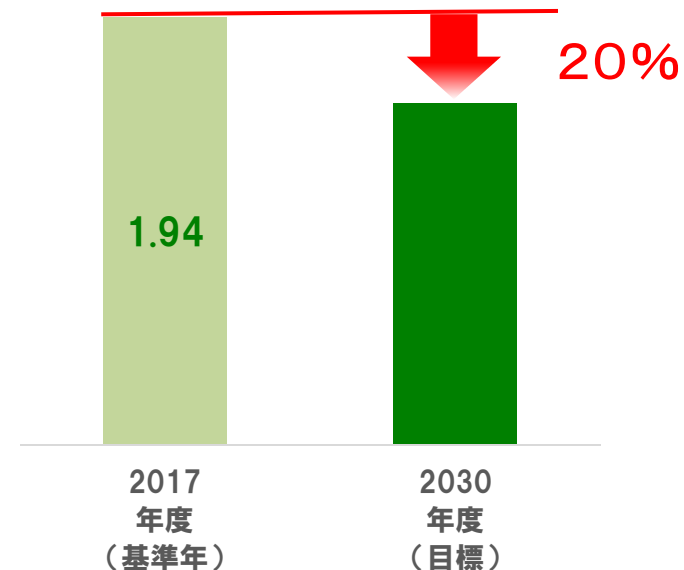
- 水専門コンサルティング会社を活用し、リスクに対する具体策を検討

## ● 削減目標を再設定

**グローバルで**  
**2030年度までに**  
**水使用量(原単位)を20%削減**

※2017年度対比

水使用量 (千 $\text{m}^3$ /億円)





## 食品ロス削減

- **今年度の取り組み**
  - **フードバンク団体との取り組み**
    - ・ 自社品の寄贈
    - ・ 災害備蓄品の寄贈
    - ・ フードバンク主催イベントへの参加
  - **賞味期限の年月表示への切り替え**
    - ・ 切り替え方針を策定し対象商品を特定、来春発売品より随時対応
  - **賞味期限の延長**
    - ・ 明治おいしい牛乳900mlなど
  - **流通との取り組み**
    - ・ 1/3ルールの見直し
    - ・ 発注リードタイムの見直し検討

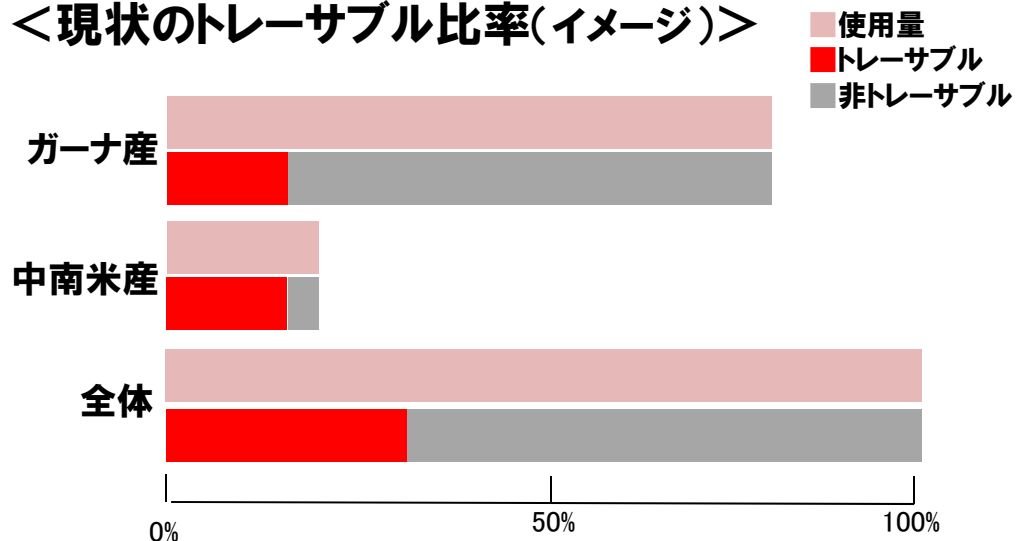
## プラスチック資源循環

- **今年度の取り組み**
  - プラ資源循環検討分科会を立ち上げ、具体策を検討
  - グループ全体の製品プラスチック使用量の99%を(株)明治が占める。中でもヨーグルトの割合が大
  - 取組方針を策定し、具体的な対応策を検討中

**2030年度までに容器包装などのプラスチック使用量を25%削減し、バイオプラスチックや再生材の使用拡大に努める**

# トレーサブルカカオの拡大に向けた取り組み

## <現状のトレーサブル比率(イメージ)>



## ● 目標を再設定

2026年度までに  
サステナブルカカオ豆<sup>注1</sup> 調達  
100%

## ● 今年度の取り組み

- カカオ分科会の立ち上げ
- 「メイジ・カカオ・サポート」の継続実施
- WCF(世界カカオ財団)との連携強化
- 「カカオ生産国における森林を守るための活動計画」の検討
- サステナブルカカオ豆<sup>注1</sup> 調達の具体案検討

注1: サステナブルカカオ豆 人権や環境に配慮した豆(認証豆やトレーサブル豆)



World Cocoa  
Foundation



Cocoa &  
Forests  
Initiative

## ● 今年度の取り組み

### ● RSPO認証[マスバランス]取得状況

- ・ 2019年度認証取得(予定を含む)

**菓子** 坂戸工場、東海工場、大阪工場、道南食品

**アイスクリーム** 群馬工場、関西アイスクリーム工場

**乳幼児ミルク** 群馬医薬栄養剤工場、埼玉工場

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて取り組みを加速

### ● RSPO認証油納入開始

- ・ 2019年10月 坂戸工場、群馬工場
- ・ 2020年4月 その他6工場へ納入予定

- 2019年度認証パーム油使用比率 約**10%**へ
- 2020年度認証パーム油使用比率 約**60%**へ



- 2019年4月 国連グローバルコンパクトへ署名
- 2019年4月 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンへ加入  
GCNJの各種分科会に参加することによって得られる情報やツールを活用し自社取り組みの精度UPにつなげる
- 2019年10月 気候変動イニシアティブへ参加
- 2019年11月 TCFD提言への賛同を表明
- 2019年12月 TCFDコンソーシアムへ加盟  
賛同した投資家や企業とともにシナリオ分析・定量化の手法を開発・共有することによって分析内容のレベルアップを図る

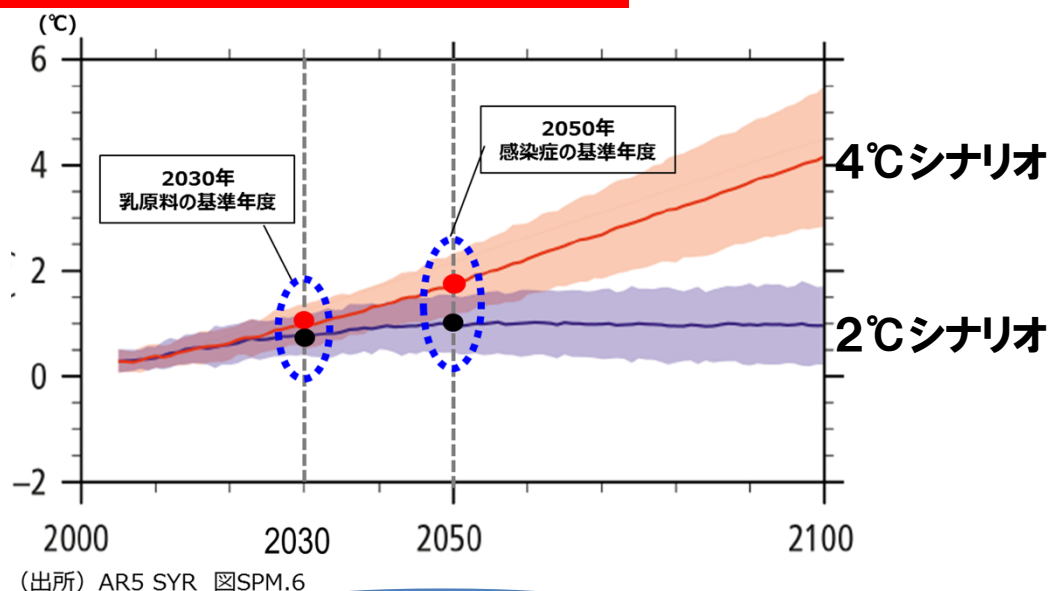
# トピックス①:TCFDシナリオ分析

環境省によるTCFDシナリオ分析支援事業に応募  
2019年8月～シナリオ分析を実施

## 分析対象テーマ

- 1. 乳原料**  
牛乳、ヨーグルト、粉ミルク等
- 2. 感染症薬**  
抗生物質、ワクチン

## 2℃、4℃でのシナリオ設定



## 重要リスク項目

### 乳原料

- 降水・気温パターンの変化
- 容器包装リサイクル
- 消費者行動の変化

### 感染症薬

- 平均気温の上昇
- 異常気象の頻発化
- 炭素税導入
- 海面上昇
- 重要商品／製品価格の増減

## 4℃ / 成りゆき任せの世界

脱炭素化は推進されず、  
水害などの物理的リスクが高まる一方  
感染症市場拡大の可能性が考えられる。



暑熱ストレスによる乳牛の  
生産性低下  
冷房等の対策コスト上昇



自然災害による施設運営・  
輸送コスト上昇



自然災害による  
工場操業停止の可能性

水ストレスの高い地域では工場  
操業に影響



蚊媒介感染症の増加  
水系汚染による下痢症(腸炎・コレラ等)の増加

## 2℃ / 規制が強化された世界

脱炭素化の施策が推進され、投資家や顧客の環境問題への関心が向上。  
様々なコスト増が起こる一方、顧客のエシカル志向が増加する可能性が考えられる。



炭素税導入による輸送コスト増加



再生材料の利用推進による製造・  
調達コスト上昇



エシカル商品への消費者の  
関心増加



蚊媒介感染症の増加  
水系汚染による下痢症(腸炎・コレラ等)の増加

## トピックス②: 人権デュー・ディリジェンスの取組み

- 2018年度
  - ・ バリューチェーンごとの人権リスク洗いだし
- 2019年7月
  - ・ グループ人権会議設置
  - ・ 優先度の高いリスク3テーマを選定
- 2020年度
  - ・ サステナブル調達アンケートを実施

グループサステナビリティ委員会

グループサステナビリティ事務局会議

### グループ人権会議

明治ホールディングス(株)、(株)明治  
Meiji Seikaファルマ(株)、KMバイオロジクス(株)  
のサステナビリティ担当を中心に構成

### 食品原材料調達

- ・ 6種の原材料を特定  
(生乳、カカオ、紙、パーム、  
大豆、砂糖)

### 薬品原材料調達

- ・ 原薬調達
- ・ 英国現代奴隷法対応

### 外国人労働者

- ・ 外国人技能実習生・  
外国籍労働者の  
実態把握



- 日時: 2019年11月2日(土)  
9:00~16:00
- 場所: 佐賀県武雄市
- 訪問先: おもやいボランティアセンター
- 参加者: 19名
- 作業概要  
床上浸水した住宅の床下に新しい砂を埋める



### 今後の活動計画

- 12月21日(土) 台風19号被災地の長野県でのボランティア活動
- 3月上旬 売店での被災地特産品フェア & 食堂での特産品メニュー展開



<明治グループ創業時の精神>

# 「栄養报国」

栄養をもって社会に貢献すること



相馬半治

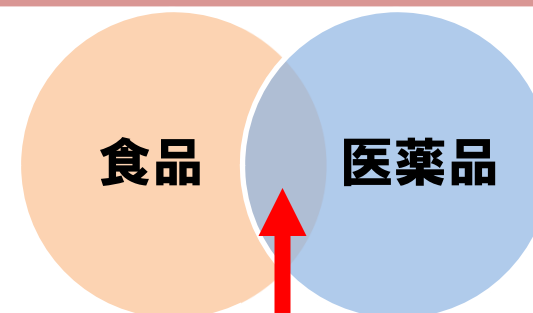
● 時代のKEY WORD



- 甘さ
- おいしさ
- 栄養
- 感染症

- 健康
- 低栄養

- 老化
- 予防



健康寿命の延伸に貢献

**参考資料：2018年度マテリアリティ進捗**

## 健康・栄養

貢献する  
SDGs



## 健康な食生活への貢献・超高齢社会への対応

### 目標

1. 健康な食生活や超高齢社会に貢献する商品の創出

2. 2018年度から2020年度までの3カ年で食育を延べ50万人に実施

### 18年度実績

健康志向商品 **47品**



付加価値型栄養商品 **32品**



超高齢社会に貢献する商品 **6品**

**19.6万人**に実施



# マテリアリティ②:環境との調和



**脱炭素社会** 貢献するSDGs

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

**水資源** 貢献するSDGs

6 安全な水とトイレを世界中に

14 海の豊かさを守ろう

## CO2排出量の削減

## 水資源の確保

**従来目標**

**18年度実績**

国内で  
2030年度までに  
**15%以上削減**

**16.8%削減**

※KMバイオロジクスを除く  
国内明治グループ

※2013年度対比

**従来目標**

**18年度実績**

国内の水使用量  
(原単位)を  
2030年度までに  
**20%以上削減**

**12.2%削減**

※KMバイオロジクスを除く  
国内明治グループ

※2015年度対比

CO2排出量(万t-CO2)



水使用量(原単位)(千m<sup>3</sup>/億円)



## 人材・社会

貢献する  
SDGs



### 多様性の尊重と人材育成

#### 目標

女性管理職比率2026年度までに

**10%**以上を目指す

2026年度の女性リーダー

**420名**以上を目指す

※明治HD、明治、Meiji Seika ファルマ、KM/バイオロジクス単体の合計数値目標

※リーダー: 管理職および係長職担当

障がい者雇用率

**2.2%**以上

※明治HD、明治、Meiji Seika ファルマ単体の合計数値目標

#### 18年度実績

女性管理職比率**3.1%**

女性リーダー**171名**

**2.29%**

### 人権の尊重

人権研修受講率**100%**

**100%**

# マテリアリティ④: 持続可能な調達活動

## 人権・環境に配慮した原材料 調達を推進

貢献する  
SDGs



### カカオ

従来目標

トレーサブルカカオの  
拡大

18年度実績

使用量  
前年比約**10%減**

※理由: チョコレート使用量計画未達のため

### パーム油

目標

2023年度までに  
RSPO認証パーム油  
への**100%**代替

18年度実績

約**2%**代替

### 紙

目標

2020年度までに  
森林認証紙および古紙  
を含む紙原材料の  
使用率**100%**

※国内で生産する製品の容器包装用紙

18年度実績

**55.3%**

※KMバイオロジクスを除く国内明治グループ



### ■お問い合わせ先

明治ホールディングス株式会社 IR広報部 IR広報G

電話:03-3273-3917

E-mail:ir-info@meiji.com

- 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。